

## ヴァシレンコ株式会社「シェレメチェヴォ国際空港」社長スピーチ

本日のセミナーは日本とロシアのビジネスマンが今後どのような形で一緒にビジネスを行っていただけるか、どのような形で共に収益を上げ共に投資活動ができるか可能性を探るためのものと考えます。私より株式会社「シェレメチェヴォ国際空港」(以下SIA)が皆様の信頼のおけるパートナーであり、皆様の収益を守ることができる企業であることをご説明いたします。

SIAの特徴は国家が株式の100%のシェアを保有していることです。SIAの資産は、まずモスクワのシェレメチェヴォ空港についてはすべてのインフラを所有しています。ウラジオストク国際空港については株式の52%を保有しています。SIAの財政は透明性をもち、国際会計基準に沿った会計報告(監査会社はデロイト)を長年にわたって作成しており毎年公表しています。SIAは世界の有力銀行と取引があり、2008年に我々はIPO(株式の新規公開)に向けた自社の監査を行いました。このとき世界の有力銀行5行が我が社の評価を行いました。シェレメチェヴォ空港の年間の輸送実績について旅客数は年間1,500万人を超え、年平均12~15%の伸びを示しています。

2006年から2008年にかけて複数の投資プロジェクトを実施しています。まず収容能力500万人のターミナル建設プロジェクトで、9ヵ月で投資した額は約1億ドルです。シェレメチェヴォ第2空港とモスクワ市内を結ぶ鉄道建設には12ヵ月、1億5,000万ドルが投資されました。2009年には新たなターミナルの駐機場に2億4,000万ドルが投資され、取り扱い旅客総数が750万人となります。

成長を続けているSIAの投資プロジェクトに皆様も是非参加していただくようお願いいたします。まず申し上げたいプロジェクトは第3滑走路建設プロジェクト、それからホテル、収納能力100万tの貨物センター、駐車場、航空機保守のための建屋といった空港の補足的インフラの建設プロジェクトです。シェレメチェヴォ空港発展マスタープランが英国のスコットウィルソン社によってすでに作成されています。スコットウィルソン社はマスタープラン作成に50年の実績をもっています。

続いてウラジオストク国際空港について述べます。ロシア政府は2012年にウラジオストクで開催されますAPEC首脳会議に大きな意義づけを行っています。これに関連してウラジオストクの空港整備に政府は力を入れています。政府は140億ルーブルの資金をウラジオストクの航空インフラ - 滑走路とターミナルの建設に投入する予定です。SIAとしては1億~1億5,000万ドルをウラジオストクの空港施設の建設、旅客および貨物の取扱のためのインフラの整備に投入する予定です。この分野はロシアのビジネスが注目しているところであり、日本のビジネスマンにも関心をもっていただけたらと思います。この方向でどのような協力の可能性があるか。ターミナル建設はSIAの子会社が担当することになりますが、その子会社は我が社の資産として保有します。インフラ施設は空港敷地内のホテル、駐車場、その他の建物です。これにつきましては様々なバージョンがあると思われませんが、外国企業の資産とすることも可能で、SIAとの合併の形を取ることも可能です。またBOT(Build Operate Transfer)方式もあり得ます。我々は皆様と協力形態を議論していきたいと思っております。

ありがとうございました。